

カーゴニュース 2016年1月14日号

カーゴニュース 2016年(平成28年)1月14日 第4442号(第3種郵便物認可)

ドライバーの健康状態をリアルタイムに通知

トライブロ

トライブロ(本社・東京都世田谷区、高木宏昌社長)は12日、腕時計型のウェアラブルセンサーで測定した脈拍の変化や睡眠の状態を位置情報とともにリアルタイム自動通知する「スマ・ロケ Healthcare(ヘルスケア)」を発売した。今後は、専門家や外部機器などと連携して、データのさらなる解析や新たなアルゴリズム構築による予測警告などにも対応していく予定。

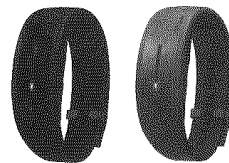
「スマ・ロケ Healthcare」は、スマートフォン連動型・動態管理システム「スマ・ロケ」と、セイコーエプソン製の腕時計型活動量計「PULSENSE PS-100」を連動させて開発。ドライバーの脈拍をリアルタイムに取得し、脈拍数の変動が設定値を越えた場合には、自動的に運行管理者へ位置情報とともに管理画面での警告や警告メールなどで通知される。

また、「PULSENSE PS-100」は睡眠時に装着すれば総睡眠時間や浅い睡眠・深い睡眠のデータを取得、自動保存できるほか、運動量や歩数なども簡単に測定が可能。リアルタイムの生体情報を取得してドライバーの安全運行を支援するとともに、睡眠や運動量のデータの履歴や推移を確認することで、さらなる健康管理の推進に貢献できるという。

ランニングコストは1台1980円から(通信費込・税別)で、契約の縛りはなく、1台1

カ月から利用可能。通信や管理は、スマートフォンへの専用アプリケーションのみで完了し、専用機器や車両への取付けなどが不要な点も特徴だ。

近年、事業用自動車における重大事故の発生件数は減少傾向にある一方で、運転者の健康状態に起因する事故の発生数は2003年からの10年間で約2・8倍へと急激に増加。改善に向けて、「事業用自動車総合安全プラン2009」ではウェアラブルセンサーによる健康管理・過労運転防止を含めた、安全運転の指導に有効な運行管理・支援システム確立への検討が盛り込まれるほか、法改正や国土交通省による安全運行に関わる機器の導入支援も開始されている。



腕時計型の活動量計
「Pulsense PS-100」



運行画面のイメージ

